

三重県松阪市飯高町

飯高町 波瀬

人口 5,590人
 人口密度 18.2%/km²
 老年人口率 34.9%

この地域が豊かであり自然公園、江戸時代、和歌山街道の宿場町として栄え、現在、少子高齢化が進み歴史的景観が薄れている。

歴史
 ~宿場町として発展~
 江戸時代：お伊勢参りの旅人、紀州の殿様（参勤交代）の「宿」として栄える。
 本陣、陣屋が建ち並び、飯高町には他に寺日寺、奥野（宮野）がある。波瀬はその中で最初にできることとなる。

現状
 ~少子高齢化・過疎化~
 「宿」の機能の消失：本陣（現、田中実）、陣屋は残っているが、宿場機能はない。
 若年層の減少：地場産（林業）の衰退、子どもの減少
 都市部との交流：食料、生活物資の配達販売…週3日程度、神保町/西条町（愛知産/現、北名古屋産）と交換留学。◀ 現在は行われていない。

失くしてはいけないものがある…それを未来に繋ぐこと。

都市部との交流

山村留学の再開

神保町 愛知産/西条町（現、北名古屋産）と交換留学を再開する。
 実行されている交換留学を再開する。

波瀬小学校（全校23人）

山村留学：1クラス40人程度の児童が1週間、波瀬の景観の中で生活体験する。波瀬の児童と学校生活共にする。



豊かな自然と歴史・文化をテーマに観光客を…
 観光客の人が、ふるさとの自然を求めて四季を巡れ、自然と文化に触れながら、観光客の滞在の場としての交流を通じて心をリフレッシュしようという新しい旅のスタイル。

グリーンツーリズム



波瀬計画地構成

敷地① 旧波瀬小学校跡地

~地域コミュニティの拠点復活~
 波瀬小学校があった当時は、地域コミュニティの中心地であった。しかし、現在は空き地として放置されている。中心を失ったコミュニティの再生の必要とされる。

和歌山街道からつづくまちを受け止め、地域全体に発信する。

敷地① 構成イメージ

敷地② 倉庫・空き地

~まちの連続性の創造~
 和歌山街道の曲がり角に位置するこの敷地は現在、倉庫・空き地になっている。和歌山街道を繋ぐため、敷地①に導くためには、公共の施設が必要とされる。

まちを連続させ、近おきまちをつくる。

敷地② 構成イメージ

古いまち並み

~まちの保存・修復~
 江戸の宿場町であった当時の面影を残して観光の要素として整備する。

歴史の魅力を向上させる。

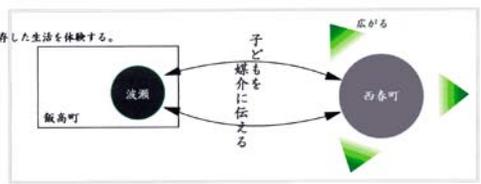
豊かな自然と共存してきた生活の歴史を…

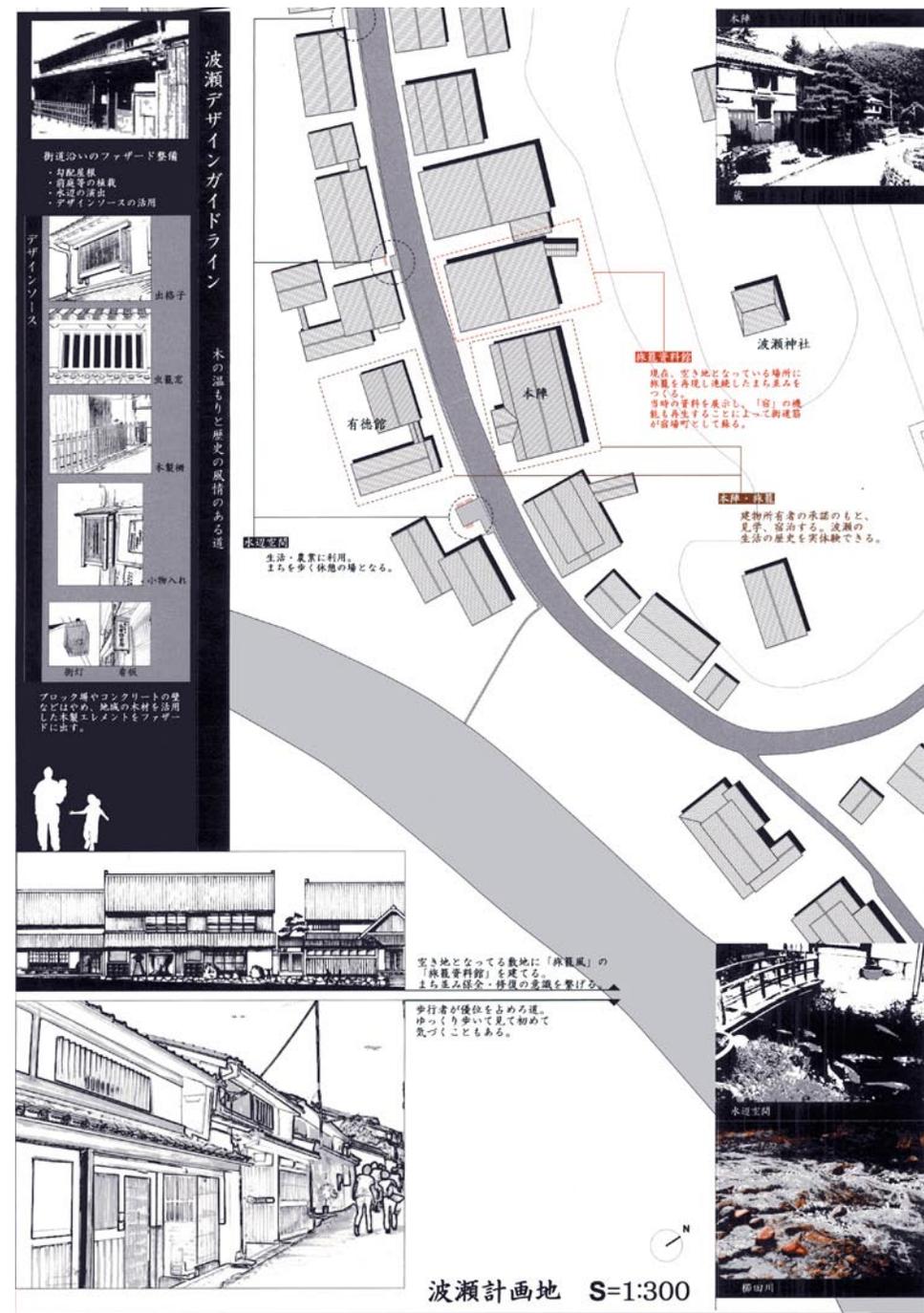
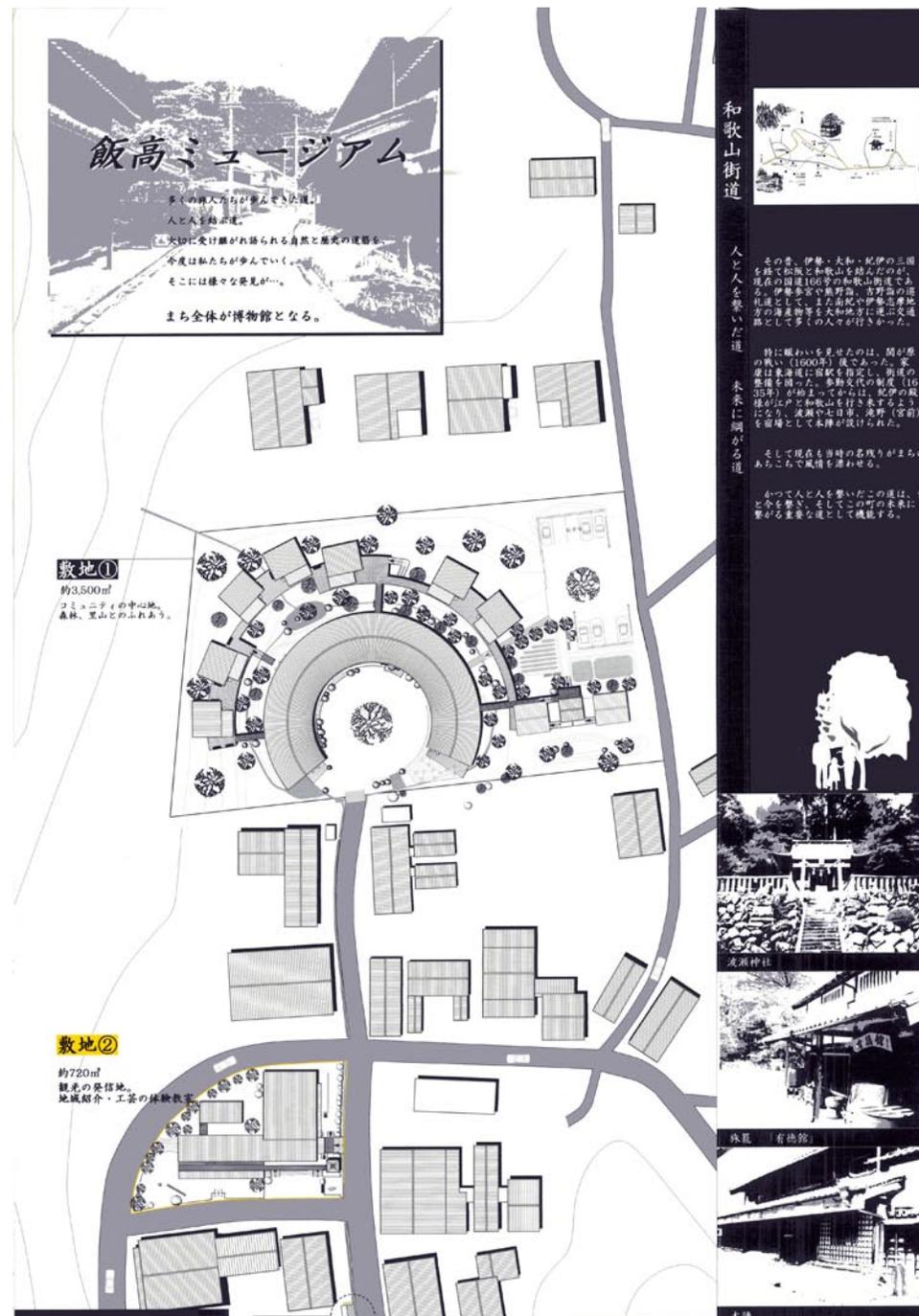
交換留学 対象者：西条町の小学生

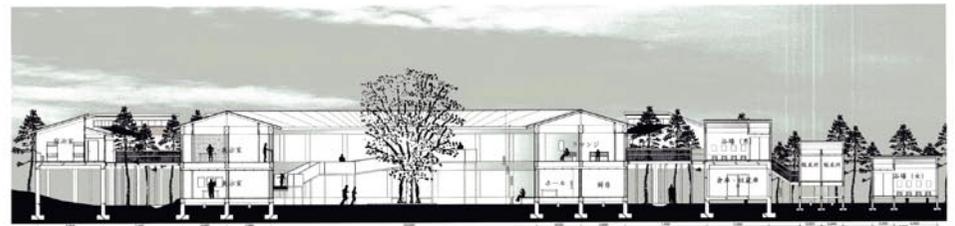
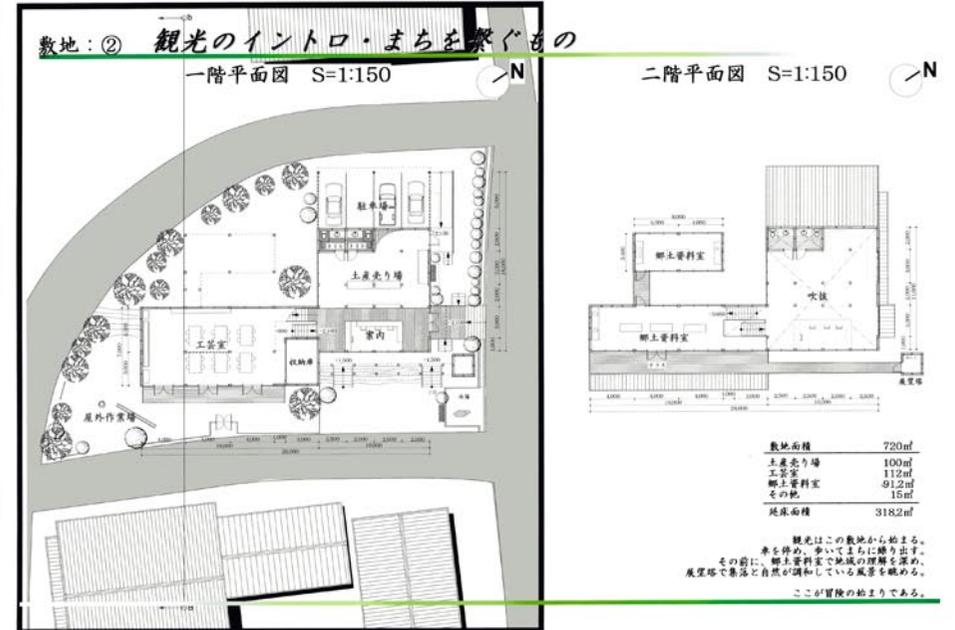
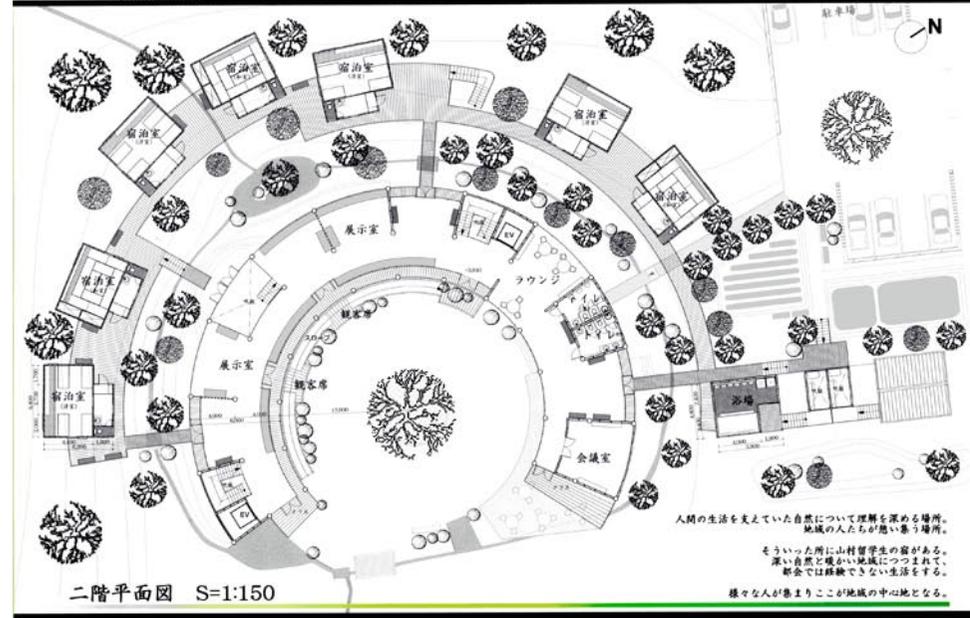
山村生活の実体験
 現代社会の大量生産・大量消費の生活から離れて夏山村の自然と共存した生活を体験する。

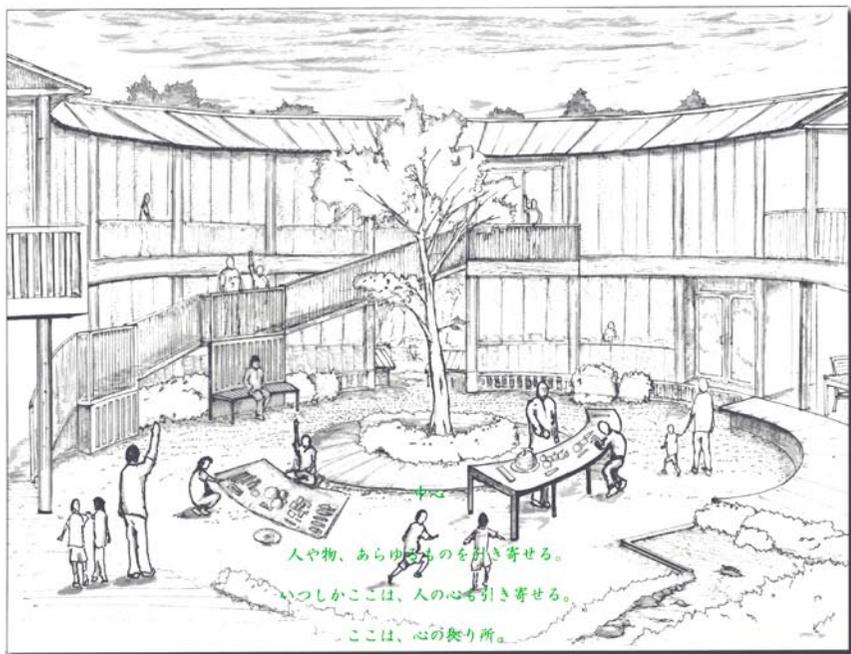
波瀬小学校に送り着ける。

子どもを通じて都市部の社会に広める。

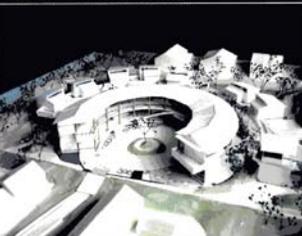








敷地① 人の集まる場所



地域住民

・市の関係 現在、松阪市の中心部の方から食料品・生活物資の配達販売をしているが、売り場がない。(現在、車による路上販売。)

中央の広場で「市」として催しものを定期的に行う。

・共同浴場 共同浴場・個人の知でかい汗を流す。

・集会所の移転 現在ある集会所を「宿」に改築して集会所の機能を移転する。

山村留学生

滞在期間中、この施設が、「家」となり、生活の中心となる。

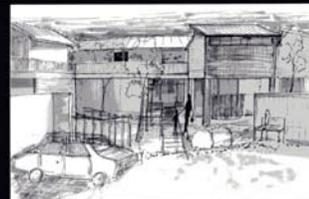
敷地内イメージ



「展示室」 子どもの利用が多いため、低い位置に展示し、大人は座って見れるようにする。



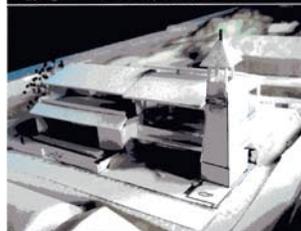
デッキから宿舎を見る。



駐車場からのアプローチ

ここが生活の一部となり、共に生きていく。

敷地② まちの分岐点



ランドマーク

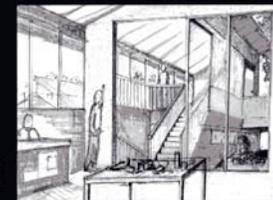
展望塔 敷地①と宿場町を繋ぐ宿場町から飯盛を繋ぐ目印となる。また夜間は、ライトアップして周囲に浮かび上がる。まち全体を眺める

観光の発信地 自然とまちの調和を調べる。

郷土資料室 車を停め、歩き出す車できた人は、ここで車を停めて歩いて観光する。

工芸教室 地域の理解を深める郷土資料室・工芸教室でまちへ降り出す前に、地域に関する知識を増やし、観光をより面白くする。

敷地内イメージ



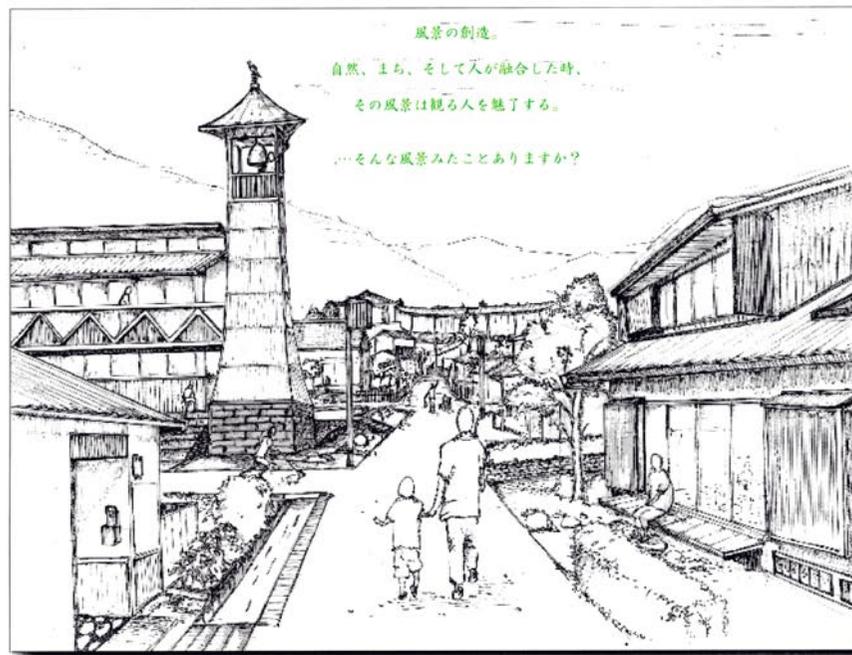
視線はすべての部屋に通じ、内部は開放的な空間となっている。



ランドマーク

敷地①から宿場町方向を見る。

まちを繋ぎ、まちを發展させる



風景の創造。

自然、まち、そして人が融合した時、その風景は観る人を魅了する。

…そんな風景みたことありますか？

Children Forest

403706 Hidetoshi Umeoka